

EGAO の保育みらいっこ令和 5 年度の園の自己評価

令和 6 年 2 月 13 日

園長 中村 悠香

令和 5 年度は大きなけがやトラブルもなく、現在まで無事に 1 年を過ごしている。

● 体調管理

コロナが収束してからあまり流行ることのなかった感染症が一機に広がり、特にアデノウィルス、胃腸炎はぶちの多くの園児がかかり、多くの職員も感染し、勤務体制にも影響が出るほど園で流行した。換気、手洗い、消毒はコロナの時と同じように行っているが、特に免疫のない 0.1 歳児は封じ込むのは非常に難しい。伝達、早めの受診を促したり、大事を取っての登園を要請し、対応して頂いた。ただ兄弟が通っているきっずにはそれほど広がらずに済んだのは幸いだった。

● 環境

夏場にぶちはエアコンが故障し、保護者の方にも登園自粛の協力をしていただき、ご迷惑をおかけした。今年は 6 月 7 月に台風が多く、毎週、台風に備えていたように思われる。当日の緊急連絡先を前日に提出してもらい、できるだけ登園の自粛もお願いした。ただ当日は予想ほどではない場合もあるため、自発的な対応を促す程度だと思われる。意思疎通ができる日頃のコミュニケーションが改めて大事に思う。今年の夏は暑さが厳しく、熱中症アラートもほぼ毎日であるため外遊びに行けない日が多かったため室内でも身体を動かせるよう、遊びの工夫が必要。また水分補給も頻繁に行い、体調の変化に気を配った。行事は事前の段取り、打ち合わせもあり、どの行事もスムーズに進んだ。運動会は 3 部制、遠足は各クラス毎、クリスマス会は 3 部制とコロナ後初めて違う学年の交流を図り、保護者は喜ばれた。来年度以降も同じ体制で行えると良い。今年度中に卒園式と発表会の日程を別々に行いたい旨を保護者に説明し、別日に設けることとした。来年度以降の行事について、今後もどのような開催が望ましいか、職員間で話し合っていく。

ふたばぐみは 5 月の保護者会の際に給食試食会を開き、保護者も給食に対する理解が進み、園でも日々改善をしていること、味付けを少し濃くしてもらった為、0.1 歳児の野菜のおかずが食べるようになった、またパンの日を入れてもらい、カレーも月に 1 回入れてもらったので、給食の時間、食べる楽しみが増え、子供たちは喜んでいる

● 保育について

年初に各クラス予算を取り、おもちゃを購入。新しいおもちゃが増え、遊び方もいくつかのおもちゃをコーナーに分け、遊ぶようにして、好きな場所で子供が遊ぶようになったことで遊びこむ時間が増えた。きっずではお当番が話し合い、遊ぶおもちゃを自分たちで決めて遊ぶようにしている。

また時代の流れで変わる保育者の関わり方を園全体で考える年であった。

子どもの気持ちを尊重し、子どもの代弁者、理解者であるよう一人ひとりが日々自分を振り返り、明日の保育につなげていく、結果個々の子が楽しく過ごせる場所が保育園だと思うそんな場所にこれからもあり続けたい。子どもにとって、最適な環境と必要な援助とは何かを模索し、さまざまな意見に耳を傾け、改善に積極的に取り組んでいく。